

時代の潮流ととちぎの課題

1「人口減少・超高齢化」
 ○人口減少は避けられない
 ○少子化・高齢化への対処、人口流出抑制等

2「産業」
 ○第1次・第2次産業従事者の減少、人手不足・雇用のミスマッチ
 ○人口減少に伴う国内需要の縮小、国際競争の激化、農業等の担い手の高齢化
 ○外国人観光客の呼び込み

3「県民生活(健康、就業、教育、県民意識)」
 ○健康寿命の延伸
 ○女性、高齢者、若年男性の就業率改善
 ○子どもの学力・体力の向上
 ○愛着心の醸成

4「県土」
 ○地域間競争に勝ち抜ける県土づくり
 ○社会資本の長寿化
 ○災害に強い県土づくり
 ○安全で持続可能なエネルギーへの転換や電力自給率の向上

5「地域の魅力(自然、歴史、文化など)」
 ○ブランド力の向上
 ○大型イベントを活用した魅力実力の発信
 ○自然、歴史、文化を引き継ぐ

6「行財政」
 ○権限移譲への取組
 ○選択と集中による行財政基盤の確立

とちぎの将来像(21世紀中頃)

◇次代を拓き、地域を支える人を創る「とちぎ」
 ○子どもたち一人ひとりの学力や体力が向上し、豊かな人間性とふるさとへの愛着や誇りが育まれることにより、社会を支え、新しい時代を切り拓く人材が育ちます。
 ○経済的安定と子育て環境の充実により、次代を担う若者の結婚や妊娠・出産、子育てへの希望が実現するとともに、女性や高齢者など、すべての県民が持てる力を発揮し、協働しながら活躍しています。

◇多様な産業が雇用を創出し、成長と豊かさをもたらす「とちぎ」
 ○本県の強みである、ものづくり産業を軸に、豊かな地域資源を活用した農林業や観光産業、新たな成長分野の産業等が力強く成長し、安定した魅力ある雇用が創出され、若者の定住が進み、県民生活に豊かさをもたらします。
 ○若者、女性、高齢者、障害者など、誰もが意欲と能力に応じ、いきいきと働き、地域産業を支える多様な人材が育っています。

◇健康で、安心して暮らすことができる「とちぎ」
 ○誰もが、住み慣れた地域で必要な医療・福祉サービスが受けられ、将来の不安なく心身ともに健康を保ち、生涯現役で活躍しています。
 ○自助、互助・共助、公助の意識が定着し、共生の考え方の下、地域全体で支え合い、犯罪等も少なく、安心して暮らすことができます。

◇安全で快適な生活と産業を支える基盤が整う「とちぎ」
 ○県民の安全で快適な生活を支える社会基盤が良好な状態で維持、保全されるとともに、産業活動や地域間交流を支える基盤となっています。
 ○人口減少・超高齢化に対応したコンパクトな都市機能の集積と自立した地域コミュニティが守られるとともに、災害に強く、ヒト・モノを呼び込む魅力ある社会基盤が整っています。

◇豊かな自然・伝統文化を次代に引き継ぎ、人を惹きつける「とちぎ」
 ○緑なす山々や清らかな水と空気、それらに育まれた動植物など豊かな自然や、自然と調和した優れた生活空間が次の世代に引き継がれています。
 ○貴重な歴史遺産、先人が育んだ豊かな伝統文化などが多くの担い手によって磨き上げられ、本県の魅力となり、ブランド力が向上し、多くの人を惹きつけ、様々な場面で「とちぎ」が選ばれています。

とちぎ県土づくりビジョン(骨子)

○県土づくりの基本方向	○目指すべき県土の姿
・日本、そして世界の中のとちぎの役割と可能性	・世界・日本の中の県土ととちぎ
・災害や老朽化への対応、人口減少等を踏まえた県土づくり	・県内のネットワーク
・新たな価値の創出 等	・美しく活力ある農山村、活力をつくり出す都市地域 等

将来像の実現に向けて

「基本姿勢」

- 1 すべての県民が担い手として協働する(全員参加、「自助、互助・共助、公助」)
- 2 すべての地域が連携・協力する(地域資源の活用、連携・協力)
- 3 すべての分野でとちぎの魅力を磨き上げる(ブランド力の向上、発信力)

今後5年間で取り組む「重点戦略」
 ⇒ 平成27年度に検討